

# 初冬の ゲーム王国

なかなか気温が下がらず、なんだかいつまでも夏が続くような気がしていたら、いつのまにかもう季節は冬。夏にウハウハな思い出を作れた人も、なーんにもいいことはなかったという人も、ちょいとばかりメランコリックな気分になってしまうはず。こうなると、外に出るのがおっくうになってくる。そこで定番となるのがゲーム。冬の夜長はおうちで1人、パソコンに向かう。やっぱりこれに尽きるでしょ。

小笠原 誠



## 簡単操作の ゴルフゲーム シエラ・ゴルフ

## 定番フライト シミュレーターの最新作 Microsoft Flight simulator 98



## 不謹慎ゲームの王様 CARMAGEDDON

マウスを駆使してシングルを目指せ!

# 3Dゴルフゲーム シエラ・ゴルフ

プレイ人数：1人～4人

発売元	シエラ・バイオニア
価格	9,800円
対応OS	Windows 95
関連情報	<a href="http://www.sierrapioneer.com/">http://www.sierrapioneer.com/</a>

日本のお父さんたちが好きなスポーツは何だと聞かれると、まずゴルフが頭に浮かぶという人が多いだろう。

しかし、いくらゴルフが好きでも、そう頻繁にコースに出られる人は少ないはず。やっぱり日本のゴルフ場は料金がお高いから。だが、本誌読者のみなさんなら、別の方法でゴルフを楽しむことができる。そう、ゲームだ。

「シエラ・ゴルフ」は、そんなゴルフファンのおメガネにかなうタイトル。緑も美しいコースを3Dグラフィックで表現した、抜群のリアリティーを誇る作品だ。コースデータも、「プリンスコース(ハワイ)」と「ピートダイ・ゴルフクラブ(米国ウエストヴァージニア州)」という、いずれも世界的に有名な2つのコースを収録。全ゴルファー憧れのこれらのコースでプレイを堪能できるとは、ゴルファー冥利に尽きるに違いない。

ちなみに、ソフト名の「シエラ」というのは、本作を開発したSierra Onlineというソフトハウスの名前。わざわざ会社名をタイトルに入れるところからも、その自信のほどがうかがえるだろう。

もともと会社は、世界で初めてグラフィックが付いたアドベンチャーゲームを発売して以来、主にアドベンチャーゲームを中心に開発を行っていた。だが、さまざまなソフトハウスを傘下に



収めていくうちに、さまざまなジャンルのソフトをリリースするに至った。「FRONT PAGE SPORTS」は、いまや総合ゲームメーカーとなった同社の看板ともなった、スポーツゲームシリーズなのだ。

なお、今回の日本語版発売の記念として、「シエラ・ゴルフ」の製品パッケージには、「コア・ダ

ーリン」というコースのデータを収録したCD-ROMが同梱されている。このコースは1991年のオープン以来、数々の賞を授賞している名コースで、全ホールから湖が見えるという素晴らしい景観を誇る。これは初回出荷分のみの特典なので、店頭で見掛けただけで即手に入れておいたほうがいいかも。

## プリンスコース



## ピートダイ・ゴルフコース



# どちらのスタイルがお好み?

この「シエラ・ゴルフ」は、パソコン用のゴルフゲームとしては、ごくオーソドックスな作りとなっている。妙に奇をてらうよりは、万人が楽しくプレイできることを目指したものになっているのだ。

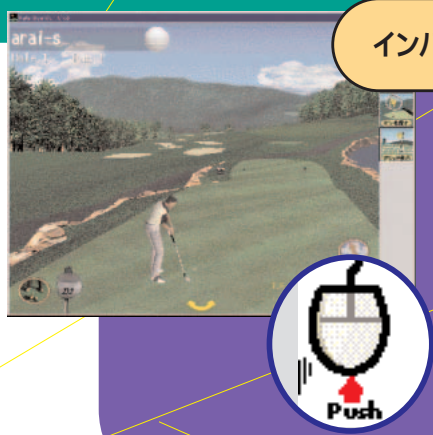
とはいえ、このソフトには、他のゴルフゲームには見られない、斬新な新機能が導入されている。それが、シエラバイオニアが言うところの、"True Swing" という入力システムだ。

多くのゴルフゲームでは、ショットの入力に"マウスボタン3回クリック制"を採用している。これは、まずマウスボタンを1回クリックでバックスイングを開始。次に、増減するパワーメーターを見ながら、適当なところでマウスボタンをクリックし、スイングパワーを決定。そして最後に、やはりパワーメーターを見ながらボールのインパクトポイントでマウスボタンをクリック。以上の3段階の動作で、1回のショットが完了するという方法だ。しかし、多くのソフトで採用されているとはいえ、この方法には1つ難点がある。それは、各段階でマウスボタンを押すタイミングがシビアで、アクション系のゲームが苦手なプレイヤーには、思うようなショットを放てないというものだ。

その問題の1つの解決法として生み出されたのが、"True Swing" というわけ。この方式では、まずマウスカーソルを画面上のキャラクターに合わせ、スイングマークを表示させるところから始まる。その状態でマウスをグッと手前に引き寄せれば、バックスイングが開始。そうして、スイングパワーがちょうどいいと思われる段階になったら(振りかぶったクラブの角度で判断できる)、今度はマウスを前方にサッと押し出す。これでショットが行われるのだ。

マウスを素早く押し出せば鋭いショットが放てるし、ゆっくりと押し出せば、やわらかいショットになる。さらにその際、左右に方向をずらせば、ボールの飛行方向もある程度コントロールできるのだ。マウスを左前に押し出せばフェードボール、反対に右前に押し出せばドロボール、という具合にね。その感覚は、まさにバーチャル。これなら、細かいタイミングを取るのが苦手な人でも、練習さえ積み重ねれば思い

## True Swing



のままのショットを放てるようになるだろう。

もっとも、"True Swing"を堪能するには、マウスを自由に移動させる空間が必要になる。机の上にあまりスペースがない場合には、かえ

## Mouse Click

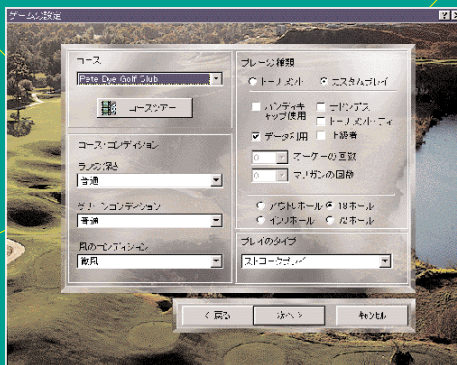


ってストレスが溜まることになってしまうだろう。その場合は仕方がない、このソフトは伝統的な"マウスボタン3回クリック制"も選べるので、そちらを選択するべし。

# 動作は軽快!

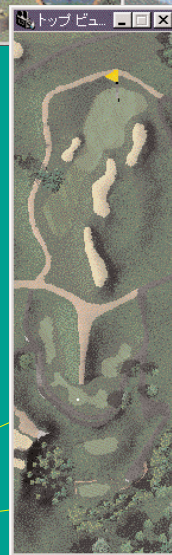
ゲームの本質には関係ないが、「シエラ・ゴルフ」には多くのパソコンユーザーにとって好ましいであろう特徴がある。それは、ハードへの負担が小さいという特徴だ。最近のパソコンゲームは、MMX ペンティアムが望ましい、などというものが当たり前になっている。中には推奨環境がペンティアム 以上などという代物が登場しているほどだ。ところがこのソフトは、今となっては入門機種よりはるかに下になってしまったペンティアム133MHzのマシンでも、ほとんどストレスを感じることなくプレイすることができる。まあ、ものがゴルフだけに、もっともハードに負担をかけるグラフィック描画の頻度が少ないというのがその理由なのだが、理由はともあれ、遅いマシンでも快適に遊べるというのは、非常に大きなポイントだろう。

ところで、このソフトをプレイするときには、ぜひテレビやステレオは消しておいてほしい。そうしないと、せっかくの素晴らしいサウンドが聞こえなくなってしまうからだ。別に、イカしたBGMが流れるというわけではない。聞こえてくるのは、鳥の鳴き声や水の流れ、そして木々のざわめきといった自然の音のみ。でも、これがいいんだなあ。なんだか実際にコースに立っているような感覚で、すがすがしい気分になってしまうのだった。



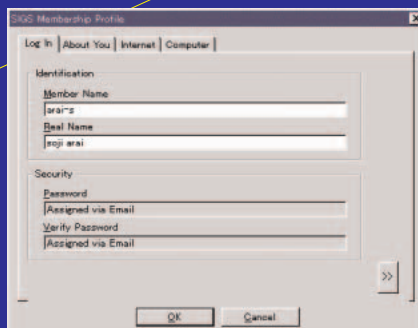
プレイヤー視点のビューだけではなく、ホール全体を上から見た全体図も用意されている。

もし初期状態で動作が重いようなら、セッティング画面でグラフィックの解像度を下げ、処理速度を高めることも可能だ。

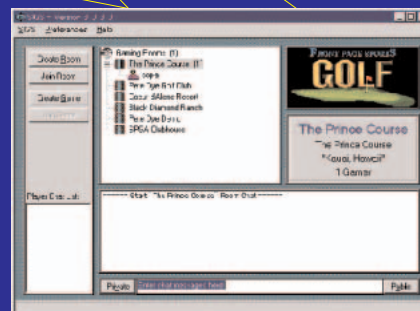


## ネットワークでプレイするには

「シエラ・ゴルフ」は、LAN接続及びシリアル接続によるネットワークプレイに対応しているほか、インターネットで対戦プレイもできる。その利用法は、以下のとおり。まずは初期画面のメニューから、「START NEW GAME」を選択する。すると「ゲームタイプを選択してください」というウィンドウが表示されるので、「インターネットプレイ」をチェックして「次へ」ボタンをクリック。すると自動的にダイアラーが起動し、「Sierra Internet Gaming System」というサーバーに接続される。接続が完了すると、メンバー名とパスワードの入力を求めるダイアログが表示されるが、そこは空欄のままにしておいて、画面下部の「New Member」ボタンをクリック。あとは画面の指示に従って必要な個人情報を入力すればいい。



▲ サーバーに接続して必要な情報を入力する。



▲ このサーバー画面で、一緒にラウンドする人を選ぶ。

## Direct 3D 対応でグラフィックを大幅に改良

定番の人気フライトゲーム

# Microsoft Flight Simulator 98

プレイ人数：1人～4人

発売元：マイクロソフト  
価格：オープンプライス  
対応OS：Windows 95/NT4.0  
関連情報：<http://www.microsoft.com/>  
<http://www.twilight.co.jp/>

ジャンルを代表する定番フライトシミュレーターとして知られる、「MS Flight Simulator」日本語版の発売はもう少し先(98年1月予定)のことになるようだが、もう待ち切れないという熱心なファンのために、オリジナルの英語版が日本国内でもリリースされた。

今回発売される「Microsoft Flight simulator 98 for Win 95 (長い!)」は、ソフト自体は英語のままだが、トワイライトエクスプレスから発売されるものは特製の詳細な日本語マニュアルが付属。多少英語が苦手なプレイヤーでも、十

分飛行が楽しめるようになっている。

この最新作、前作に比べてさまざまな点が改良されているが、中でも特に注目すべき変更点が2つある。まずは、大幅に向上したグラフィック。Direct3Dに対応したことにより、前作と比較して約2倍のフレームレートを実現。3D対応のビデオカードを利用すれば、機体表面や地上マップのテクスチャーもばっちりだ。

そしてもう一つの変更点は、ネットワークプレイへの対応。このソフトでどういったネットワークプレイができるのかは、右の囲みを参照してほ

しい。

新たな機体データも複数収録。シリーズで初めてヘリコプターの操縦も楽しめるようになり、また先日発売されたばかりの体感型ジョイスティック、「SideWinder Force Feedback Pro」に対応している。さすがにマイクロソフトの製品同士だけのことはあり、両者の相性は最高。旋回時に操縦桿がグッと重くなるなど、以前から本格派志向で知られるこのソフトが、さらにリアルなものに感じられる。フライトシミュレーターマニアのみならず、2つまとめて購入するといいだらう。



選んだ機体によって、コックピットもかなり異なる。上は大型機のボーイング737、下は小型機リアジェット。



ボーイング737という大型機から小型のセスナ、ヘリコプターまで揃っている。



## ネットワークでプレイするには

このソフトでネットワークプレイを行うには、本誌でも何度か紹介してきたマイクロソフトのゲーム専用サイト、Internet Gaming Zone(<http://www.zone.com>)を利用する。まだこの会員登録を済ませていない場合は、本誌11月号のゲーム特集などを参考にして、ユーザー登録を行っておこう。さて、それではこのソフトのネットワークプレイとはどんなものかという……。これが飛行機を飛

ばすだけなのだ、いや、本当。そもそも武器などは登場しないソフトのこと、対戦なんてものはなから無理なのだ。それどころか楽しいのかと疑問を抱く人がいるとは思いますが、実はこれがけっこうおもしろらしい。ベテランプレイヤーたちがセスナの編隊を組んでアクロバット飛行を披露する、なんて遊ばれ方をしているようだ。



こんなに人を轢いてもいいの!?

# おバカなカーレースゲーム **CARMAGEDDON**

プレイ人数：1人～4人

発売元 SCI(オリジナル版)  
Interplay(米国流通版)  
価格 \$44.95  
対応OS Windows 95及びDOS 6.2  
関連情報 <http://www.sci.co.uk/>  
<http://www.interplay.com/>



▲ 悲鳴を上げて逃げ惑う歩行者たち。他の車に轢かれた死体の上を通過すると、プチッとというイヤな音がするんだ。また。



▲ 選択可能な2人のドライバーも、いかにも馬鹿っぽいリックス。それにしても、「DIE ANNA(=ダイアナ)」とは……。時節から、ちょっとマズイのでは。



▲ さすがに歩行者とは違い、車はなかなか壊れない。相手にダメージを与えるには、正面からぶつからなくては行けない。スピードも必要だぞ。

海外産のコンピュータゲームの世界には、脈々と息づく1つの流れがある。それは「バカゲー」クソゲーではないぞ。「バカゲー」だ。それなりに以上に熱中して遊ぶことができるだけの完成度は持っていないが、登場するキャラクターがイカしていたり、バックグラウンドストーリーが重度の常識外れだったりして、そこはかとなくおバカさんな香りが漂ってくるゲーム。人はそれを、バカゲーと呼ぶ。

そんなバカゲーの流れの中に、とてつもない問題作が登場した。英国のSCIというソフトハウスが制作した「CARMAGEDDON」は、単なるバカゲーではない。とてつもなく不謹慎な要素を大胆に取り入れた、まさにとんでもない怪作なのだ。

タイトルに「CAR」とあることから分かるように、このソフトは基本的にレースゲームの体裁をとっている。だが、ただのレースではない。「CARMAGEDDON」では、レーススタート時、走

行可能な残り時間が設定されている。ちょうど、アーケードのレースゲームと同じような感じだ。アーケードの場合、走行可能時間は、規定時間内にチェックポイントを通過することで加算されていく。このソフトの場合も、ある条件を満たすことで、残り時間が増加する。ではその条件とは何かというと……。歩行者を轢き殺すことなんですか、これが。

10年、いや20年ほど前だろうか、同じような設定で物議をかもした「デスレース2000」という映画があった。この「CARMAGEDDON」は、その映画そのままの世界が展開される。とにかくその印象は強烈そのもの。倫理観の強い人にはとてもすすめられないが、恐いもの見たさの好奇心が旺盛な人は、輸入ゲーム屋さんで探してみるといいだろう。なお、当然ながら日本語移植の話はまったくない。念のため。



## ネットワークでプレイするには

このソフトのネットワークプレイは、基本的にLAN環境のみに対応している。その利用方法は、ごく簡単だ。まずは初期画面のメニューのうち、「Choose New Network」を選択。すると、LANに必要なドライバー類が導入されている場合はネットワークモードでゲームが起動する。ただし、注意しなければならない点がある。まずは、ホストとなるマシンのCD-ROMドライブに、「CARMAGEDDON」の製品CD-ROMを入れておかなければならないという点。そしてもう一つは、このネットワークモードを利用できるのはWindows 95版のプログラムのみということ。製品CD-ROMにはWindows 95版とDOS版のプログラムが収録されているが、後者ではネットワークプレイは利用できない。勘違いしないように注意しよう。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)